

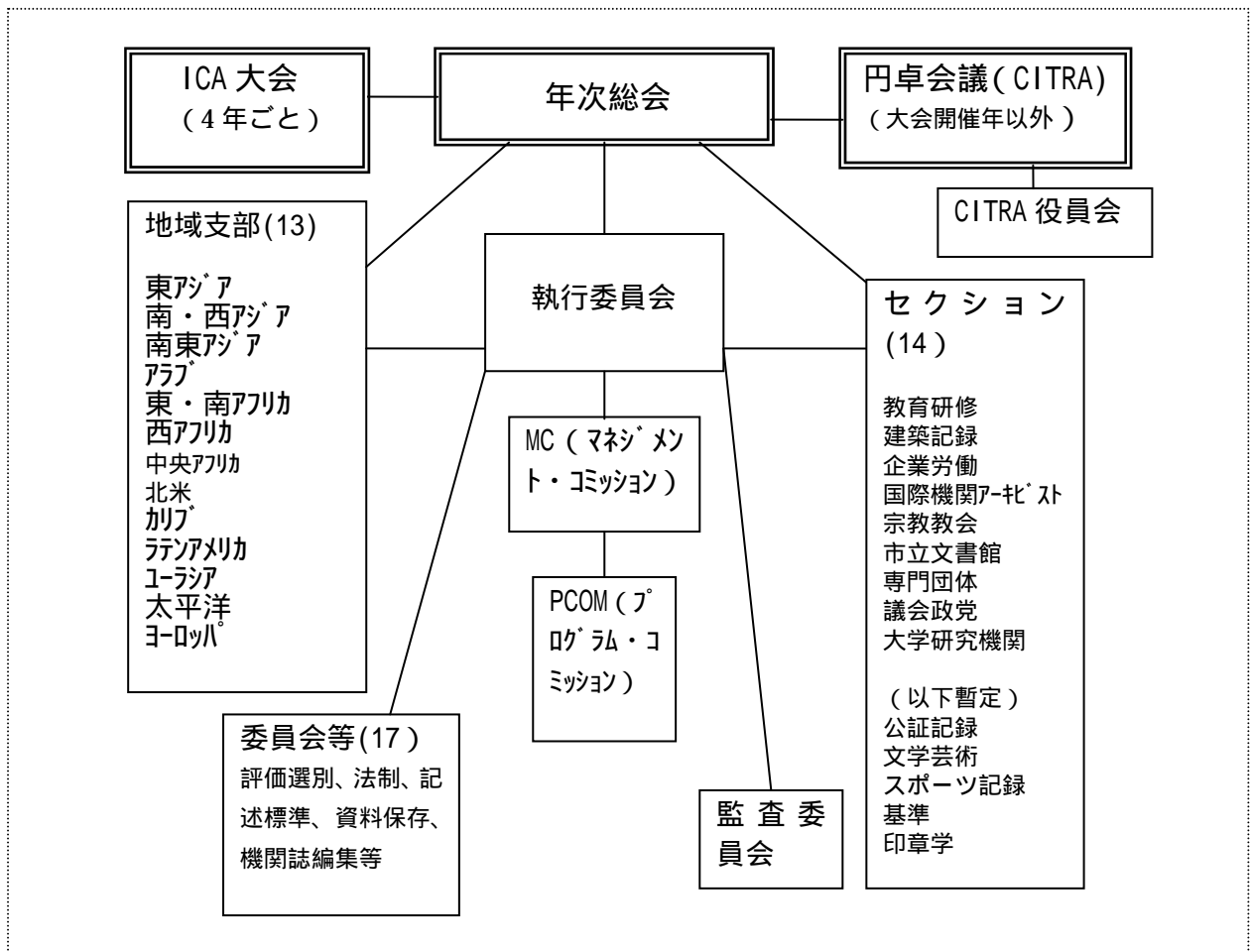
菊池光興国立公文書館長の国際公文書館会議 (International Council on Archives) 第一副会長就任について

2005.8.4 国立公文書館

1. 菊池光興国立公文書館長は、公文書館の国際組織である国際公文書館会議 (International Council on Archives, 以下 ICA) で 2005 年 3 月に行われた役員選挙において、執行委員会 (Executive Board) メンバーである A 会員 (国立/連邦公文書館) 代表のポストに圧倒的多数の支持を得て選出された。立候補に際しては、米国、カナダ、フランス、中国、韓国、オーストラリアの各国立公文書館長の推薦を受けた。
2. その後 2005 年 4 月 28 日に米国ワシントン DC で開催された執行委員会において、全会一致で第一副会長に選出され、オーストリア国立公文書館長であるロレンツ・ミコレツキー会長から、2005-2007 年に毎年開催される国際公文書館円卓会議 (International Conference of the Round Table on Archives, CITRA) の運営を委任された。
3. ICA はユネスコの支援を受けて設立された公文書館の国際非政府組織で、1950 年 (昭和 25) にパリで第 1 回総会を開催。現在約 180 カ国 / 地域の公文書館及び関係団体等 1,700 の個人・団体会員を擁する。パリの国立歴史公文書館内に本部を置く。現事務総長はオランダ出身のジョアン・ファン・アルバダ氏。4 年に 1 度 2,000 人規模の大会を、その他の年に 200 人規模の円卓会議を開催。
4. 2005 年円卓会議はアブダビ (アラブ首長国連邦) で 11 月 27 日から 12 月 2 日まで、「グローバル化時代の記録とアーカイブズ」 (Records and Archives in the Global Age) をテーマに開催。以後 2006 年キュラソー (オランダ領アンティル)、2007 年ケベック・シティ (カナダ) で開催の予定。次期大会は 2008 年クアラルンプール (マレーシア) で開催。
5. 執行委員会は、任期 4 年、再選は 2 期まで。年次総会の決定に従い、ICA の管理運営、プログラムの実行等を行う。主なメンバーは以下のとおり。
 - ・ 会長 (現職は前回大会開催国ホスト、オーストリア国立公文書館長)
 - ・ 上席副会長 (現職は次回大会開催国ホスト、マレーシア国立公文書館長)
 - ・ 第一副会長 / A 会員代表 (日本国立公文書館長)
 - ・ 第二副会長 / 専門職団体セクション代表 (ジュネーブ市立公文書館長)
 - ・ プログラム・コミッション議長 (アイスランド国立公文書館長)
 - ・ 13 ある地域支部の議長 (東アジア地域支部議長は中国国家档案局長)
 - ・ 各セクション代表
 - ・ 会計官 (空席のため、現在は会長が兼任)
 - ・ 事務総長及び事務次長 (選挙権なし)

(参考)

[ICA 組織図]



ICA 副会長の役割

1. 円卓会議担当副会長としての職務

- ICA 会長からの委任を受けて、円卓会議の準備（開催国調整、セミナー内容の決定、発表者選択、その他）を行う。
- 円卓会議決議案及び ICA 大会決議案のとりまとめを行う。

2. ICA 副会長としての職務

- 会長を補佐する。
- 会長がその役割を果たせない場合、あるいは会長職が空席になった場合、上席副会長が代行となるが、上席副会長が代行できない場合は副会長が代行する。

3. 執行委員会メンバーとしての職務

- 執行委員として年次総会で採択された ICA の政策やプログラムを実行する責務を負う。

4. マネジメント・コミッションのメンバーとしての職務

- 執行委員会から委任を受けた業務を行う。
- 次の執行委員会が開かれるまでの間、運営上の決定を行う。